

住まいのメンテナンス

お悩み解決!



DIY(日曜大工)に興味のある女性が増えて「DIY女子」なる言葉もありますが、おうちのメンテナンスを大切なお住まいで快適に生活するための裏ワザをご紹介します!

フローリング [flooring]

日本の住まいの床材で主流となっているフローリング。いつまでもキレイな状態を保つための裏ワザはこちら!



日々のお掃除方法

乾いたモップでお部屋全体のホコリを取り除いてから掃除機をかけます。
 ◎最初に掃除機をかけてしまうと、排気でホコリを舞い上げてしまいます。ドライタイプのモップなどを使って、あらかじめゴミやホコリを少なくしておく、掃除機を引きずる際にフローリングを傷つけずに済みます。

1ヶ月に1度ワックス掛け

米のとぎ汁で拭くとツヤツヤになります。
 ◎床面は汚れていないように見えても、いざふき取ってみると真っ黒になってびっくりするものです。1ヶ月に一度の割合でワックスをかけましょう。ただし頻繁に水拭きすると、床材のツヤが消え、ひび割れの原因になりますので、水拭き・ワックス掛けをした後は、時間を置かず乾拭きで仕上げましょう。

家具からフローリングを守る

家具の脚に靴下をはかせて予防します。
 ◎座ったまま椅子を引いてしまっとうっかり床に傷がついてしまった…なんて経験ありませんか?床材の痛みは下地に水や湿気が入り込み、キシミやウネリの原因になります。家具の脚に靴下をはかせたり、片面がシールになっているゴムスポンジを貼って床に傷つかないように予防しましょう。

畳 [tatami]

置き畳として床に置いたり、ベットマットに使ったりと用途が広がっている畳。イグサの自然素材の良さを保つための裏ワザはこちら!

日々のお掃除方法

畳の目に沿って丁寧に表面のホコリを取りましょう。
 ◎イグサの皮が破れて中が見えるようになってしまうと、汚れを吸収しやすくなってしまいます。掃除機をかける時も拭き掃除のときも、必ず目に沿って傷がつかないようにゆっくりと丁寧にやるのが大切です。

ダニやカビから畳を守る

お湯で固く絞った雑巾で優しく拭き、最後に乾いた雑巾で乾拭きします。
 ◎畳というのはダニが発生しやすい場所です。特にカーペットやじゅうたんを敷いているとダニの発生が起こりやすくなります。今いるダニを退治するために燻煙剤を使うと更に効果あり!

畳のメンテナンスは約5年で表替え、10年で新調するのが目安とされています。もしも畳の表面が赤く日焼けしてしまったら、お酢を使ってみましょう。なるべく乾燥している時期がおすすめです。
お酢100mlをお湯100mlで薄めて拭き掃除!

裏ワザ! 補修の裏ワザ!

うっかりものを当てたり落としたりして傷をつけてしまった!! そんなときにお役立ち! 簡単に補修する裏ワザをご紹介します!

- 似た色のクレヨンで隠す
小さなキズであれば似たような色のクレヨンで隠すことができます。(ホームセンターなどに専用の補修クレヨンもあります)
- 透明マニキュアを塗る
浅い傷であれば乾拭きしてから透明なマニキュアを塗ると傷を目立たなくさせることができます。
- 専用のシールを貼る
ホームセンターなどで売っている専用のテープを適当な大きさに切り貼りするとある程度傷を補修することができます。

フローリングのメンテナンスは約20年くらいが目安と言われています。もしもフローリングのキシミが気になったら、板と板の隙間にシャンプーをほんの少し注入してみてください。壁紙やカーテンと違ってなかなか交換ができませんので、ちょっとした工夫でキレイを保つことができれば良いですね。

裏ワザ! 補修の裏ワザ!

家具の重みでへこんでしまった!! そんなときにお役立ち! 簡単に補修する裏ワザをご紹介します!

- ぬれぞうきんの上からアイロンをあてる
家具の重みでへこんでしまった部分に濡らした雑巾を当て、その上からアイロンをかけると家具の跡を目立たなくすることができます。

壁紙 [wallpaper]

壁紙を劣化や汚れから守る5か条。美しい状態を保つ心がけはこちら!

- ①できるだけ直射日光を当てない。
- ②熱風や高温をさける。
- ③粘着テープを貼らない。
- ④部屋の換気はこまめにする。
- ⑤壁と家具の間に隙間を作り結露を防止する。

エコラブお悩み事 ランキング 結果発表!!

エコラブVol.15(2017年5月発行)のアンケートでは「おうち」のお悩み事について多くの回答をいただきました。ご協力ありがとうございました。

- 1位 冬場、窓の結露がひどい
- 2位 水まわりのカビ・においが気になる
- 3位 床・壁が傷んでいる
- 4位 収納スペースが少ない
- 5位 外壁の汚れが気になる

冬場、窓の結露がひどい 解決策

「結露」は低温の壁や窓ガラスに温かい部屋の空気が触れることで発生し、そのままにしておくとさまざまなアレルギー症状や、おうちを傷める原因となることもあります。

結露を防ぐポイント!

- ①暖房の温度を少し下げて、屋外との温度差を少なくする。
- ②水蒸気の多量発生を抑える。
- ③適度に換気をして、室内の湿気をおいだす。

エコラブ Vol.14(2016年11月発行)で詳しくご紹介しています!

水まわりのカビ・においが気になる 解決策

私たちにっては過ごしやすい梅雨の季節も、カビやダニにとってはパラダイス!! ちょっとした心がけで清潔で快適な暮らしを手に入れましょう!

カビと湿気の予防策!!

- 浴室…入浴後は窓を開けたり換気扇をまわしたりして湿気がたまらないようにする。
- キッチン…火や炊飯器を使うときは換気扇を回して湿気を取り除く。

エコラブ Vol.5(2012年5月発行)で詳しくご紹介しています!

収納スペースが少ない 解決策

100円雑貨を使ったアイデア収納術で、リビング、キッチン、クローゼットを快適な空間にしましょう!

エコラブ Vol.6(2012年11月発行)で詳しくご紹介しています!

エコラブのバックナンバーをご希望の方はお気軽にお近くのお客さま窓口までお問い合わせください!
 これからもお客さまに「知っ得」な情報をお届けしてまいります。今後とも「エコラブ」をよろしくお祈りします!